

## 4. 運輸部門の省エネルギー推進事業

### (1) アイドリングストップ自動車の普及促進

[自動車燃料消費効率改善システム導入促進事業費補助金]

省エネルギー対策として有効な手段であるアイドリングストップ自動車の普及を促進するため、アイドリングストップ自動車及び後付アイドリングストップ装置の購入者に対して、ベース車両との価格差の2分の1相当、または後付装置購入価格の2分の1相当を補助金として交付する事業を実施しました。平成18年度の補助金の交付件数は、1,072件（3,328台）でした。

補助金制度周知（制度・募集告知）活動として、公募説明会を全国9地区で開催（平成18年5月10日～6月2日、参加者数59名）しました。ENEX展（東京・大阪）、その他省エネルギーキャンペーン、イベント等でも補助金制度のPRを実施しました。

また、関連団体への訪問説明、関係省庁と連携した周知活動、アイドリングストップ自動車の試乗会も実施しました。

さらに、認知度向上のための広報ツールとして、パンフレット（133,000部）、手引き（18,000部）、リーフレット（27,000枚）を作成、配布するとともに、業界紙、専門誌への情報提供、広告掲載を行いました。

#### ○公募説明会開催実績（全国9地区）

地区	開催日	会場（所在地）
北海道	平成18年 5月31日	北海道経済センター（札幌市）
東北	6月 2日	ハーネル仙台（仙台市）
関東	5月10日	日本青年館（東京都）
東海	5月16日	愛知県女性総合センター（名古屋市）
北陸	5月19日	パレブラン高志会館（富山市）
近畿	5月17日	大阪会館（大阪市）
中国	5月24日	RCC文化センター（広島市）
四国	5月26日	香川県社会福祉総合センター（高松市）
九州	5月12日	アスク(ASC)ビル（福岡市）

### (2) エコドライブ推進事業の実施

新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(自動車燃料消費効率の改善及び運輸部門におけるエネルギー使用合理化の推進事業)

[資源エネルギー庁:受託事業]

エコドライブ（省エネ運転）を広く普及する目的で、以下の様々な推進活動を実施しました。

#### 1) エコドライブ支援システムを用いたエコドライブの普及・促進

平成17年度に開始したエコドライブ支援システム「ReCoo（レクー）」を運用実施しました。グループ会員サービスの利用者の意見をもとにしたサービス内容の充実、モニター会員の拡大、簡易型車載機（燃費等データ記録システム）の投入、ステッカーの配布等により、会員の増加を図りました（全会員数：平成18年度末10,103名）

(平成17年度末比4,899名増加) / グループ会員：22グループ460名登録)。

簡易型車載器の投入により、一般会員に対しても、モニター会員と同様のサービスを実施でき、多くのドライバーがエコドライブの体験をできるようになりました。また、同車を試乗会で活用するなど、燃費を確認してエコドライブを実感できる機会を増やすことができました。

レコーシステムを改良し、「『エコドライブ10のすすめ』のタネあかし」、「エコドライブ実践比較レポート」、「エコドライブ教習会レポート」等の既存サービスの充実を図りました。また、モニター会員のデータの分析によりエコドライブ診断（クリニック）の充実、モニター会員のデータを一般会員へ開示する情報提供（アドバイス）の開始により、多数の会員がエコドライブに関するデータを利用できる状況になりました。「発進と巡航の実施基準」の提示により、会員が自身の運転を自己評価できるようになり、エコドライブの実施推進に繋がりました。

さらに、他の燃費管理サイトであるe-燃費の運営主体と連携し、車種マスターの共通化やエコドライブ情報の共有化を実施し、多数の方を対象にエコドライブ情報を提供しました。

## 2) エコドライブ教習システムの推進

エコドライブ推進のリーダーとなる自治体や企業の省エネルギー推進担当者を対象としたエコドライブ教習会を、札幌市、川崎市、名古屋市等全国10箇所で14回（受講者244名）開催し、各会場でエコドライブにより20%以上の燃費改善効果を確認しました。

また、エコドライブを実技教習する省エネ運転インストラクター養成研修会を晴海（東京）で1回（受講者数12名）開催し、エコドライブ普及推進のための体制の充実を図りました。

さらに、エコドライブについての講演の開催を要望する自治体、団体、企業等への講師派遣を行い、約20回で約1,000名が受講し、エコドライブの燃費改善効果の知識周知を行いました。

ニーズに対応した教習カリキュラムの整備・運転実技を補完できる映像教材（DVD）、実技教習用の教習教材の作成、充実を図りました。

また、一般ドライバー等へのエコドライブ普及推進として、パンフレット等を作成し、各地の講習会や全国の自治体、団体等のエコドライブ推進関係者などへ配布しました。

- ・「スマートドライブ」パンフレット（一部改訂版）：50,000部
- ・「発進モード」リーフレット：40,000部
- ・「停止モード」リーフレット（増刷）：40,000部
- ・「エコドライブ10のすすめ」チラシ：推進月間用650,000枚、汎用版690,000枚

## 3) 地方自治体との共同事業

全国地方自治体におけるエコドライブ取り組み状況の把握や、推奨事例の取得・検討のために、地方自治体のエコドライブ施策に関する推進実態調査を実施しました。調査結果から、実効性のある推進プランに繋がる提言を行い、自治体がエコド

ライブ推進施策を講じる際に参考となる施策例等を整理した報告書を作成し、Webサイトに掲載して周知を図りました。

また、エコドライブ推進のモデル自治体として、栃木県、大阪地区（大阪府、大阪市）、福岡地区（福岡県、福岡市、北九州市）を設定し、統合的プランの設定、地域母体の組織化、推進プランの実施などの支援・評価を行い、地域でのエコドライブ普及推進事業を展開しました。本事業により、自治体が独自にエコドライブ施策の計画・実施・評価を行い、平成19年度以降の改善に繋がる事業展開ができるように努めました。その他にも、世田谷区（東京）におけるアイドリングストップイベント等の自治体支援を行いました。

前述の調査結果や支援した自治体における様々なエコドライブ施策事例の中から、課題整理や評価分析、特徴等の抽出を行い、エコドライブ推進活動に取り組む自治体を広げるために、パネルディスカッションを含むシンポジウムを開催しました。シンポジウム開催の報告をWebサイトで公開し、エコドライブ施策の有効な取り組み事例やノウハウ等の共有、推進活動の活性化を図りました。

#### ○シンポジウムの開催

開催地区	会場	開催日	来場者数
東京	東京ウィメンズプラザ	平成19年3月15日	約180名
大阪	テイジンホール	平成19年3月26日	約70名

#### 4) エコドライブの普及・推進に係わる調査

運行時の燃料消費の多くの部分を占める巡航時に着目し、巡航中の運転操作の違いによる燃料消費量を計測して、燃料消費の少ない巡航方法を明らかにしました。その結果をリーフレットとして作成するなど、広く普及させることで、エコドライブの推進に結びました。

アイドリングストップに関しては、燃費改善効果の測定、アイドリングストップを実際に経験した方の意見及び車両の状況を集約し、アイドリングストップ普及への対応方法の検討を行いました。また、アイドリングストップを実施した場合の車両部品への影響に関する調査を行いました。

さらに、我が国においてエコドライブを指導普及できる人材を育成するため、インストラクター制度に関する海外の事例や国内の様々な事例を調査しました。調査結果より、エコドライブ教習の水準を維持するためにはインストラクター認定制度が有用であり、将来的には自動車教習所での実施を考慮する必要があるなどの報告を行いました。